

校長 逆瀬川 助 熊

並に直接建築の勞力を

嘉野長次

の責任は負ひてあります。が、歸すべき大道は一本であります。

皆さん、川内高校は今日まで形の上では復興に成功致しました。今日は實に内容の復興期にあると思ひます。而も眞の復興はこの内容の復興、魂の復興にあるのであります。而じて内容の復興は他から與へられてなされるものでなく、實に主

う。

皆さんどうぞ努力して下さい。不撓不屈精神を以て努力して下さい。私の口から申すのはどうかと思ひますが、本校の教習陣は科に直り縣下松比走ない立派なものである。諸君はこの方を速急なく敲いて下さい。一人や二人で至全教習を敲いて下さい。敲は、然らば落

川中五拾週年の紀念事業の一つとして同窓會が取り上げられた圖書館建設がいよく完

想へば我が校はよき聲を持ったものだ。是水よりも濃しと云が、先輩なればこそ、

田原文雄

田原文雄

科の學習材料として教科書を備へ、或はこれに代行する大きい意味を持つ。それは生徒の個性伸張のための廣い活動舞台を提供し、自發的活動を極めて有効に促進すること。第二に、讀書を終生の趣味として身につけるようになり、余暇のよく利用法を學ぶことが出来ること。第三に、ものごとを自主的に判斷する力を養う上に役立つこと。第四に、學校	はあまぜんか。明日に備へて今日を充實する。而していついかなる時に於ても、世界の人の仲間入りが出来る。
りも直さず學校圖書館の學校教育に占める位置を物語つていと云える。 我々はこの圖書館を持つことが出来た。その善びは何物にも換へ難い。然し乍ら現在出來た圖書館は、應その外形だけである。圖書館がその眞の機能を發揮する爲には云うまでもなく内容が充實されねばならない。問題はここにある。 何をどのように集め	御厚誼に對し厚く御禮申上ますと共に今後の御啓事を併せて御願申上ます。 (教育委員)

男女共學の前奏曲として行つた開校記念祭も去る十月十九日その幕を閉じたが、この間に起きた小事件を中心、に共學の是非の問題が漸く盛んにならうとしてゐる。去る十月三十日附のウィークリーカゴシマ紙は男女共學の騒動を題して、眞實を上回る記事を報道してゐる。我々にはかゝる記事によつてこの大問題によつて、再び燃るこ

題を決すべきではない。即ちこの記事で述べられてゐる風紀問題の一部分が眞實であるにしても過激期に於ける未確たる一事件であり、これによつて直ちに共學そのものの非なりを説くのはあやまりであらう。我々は自身で又P.T.A.の方々の協力によつてがたい事件の招來を防止することによつて、再び燃るこ

言に對する感情の對立によつて共に反對してゐると述べられてゐるが、かつて筆者の母の時代の女學校に於ては、類義は特許の方向に振つことを強ひられスカートの長さは一、二男女の中学生と一緒に歩くものなら即時退校という、現在から見れば吸吸の時代のやつたのである。このやうな時代を経た女學校生大に共學問題に對して大まかな論をなすの

それだけに慎重に事をなして欲しい。

會長始め各役員の種類的な働きかけは勿論だが、といつて決して役員のための役員だけのPTAになつてはならないと思う。或る都市に於てはPTAがBTA（ボス、アンドン、ティーツ、アンドン、インション）となり果てた事件があつたさうだ。健全な側面に回結

の小さな心から、先生の意見に合してしまふといふことがあつてはならないと思う。何分過渡期の現在、この壁を突破するには幾多の壁を予想される。我々生徒は自治會を通じ、常に自己の良心に従つて共學の重要な立場をわきまけて意見を發表し多数の人の幸福と善ふ結果に至らしむべきであらう。（協力）

両面からの心からの御援助と、工事関係者の献身的な御努力とが、あらゆる困難を克服して、この大事業を成就せしめたものである事を我々は深く銘記して満腔の敬重と感謝とをそれらの方々に献げねばならないのである。陛下に、否天下に、同窓生の御存続になることを立案する御意が通つたものであらうが、

新教育に於ける學圖書館の持つ役割は圖書館に大い。これから教育は學校圖書館を心に展開されると云ても過言ではない。試みにその役割の三つを別々にあげば、第一、圖書館に集められた書物は資料が

書館の利用法について
 親熱することによつて
 終世圖書を利用し、公
 私の圖書館を活用する
 ための基礎的な能力技
 能を得ることが出来る
 こと等である。

即ち、教育基本法の
 前文に謳つてある教育
 の三大眼目、個人の尊
 厳の重視、異理と平和
 を通じて人間の自由を
 普遍的にして個性性を
 顕文化の創造は、取

P.T.A.のお蔭で一應の
 見通しはついたが、あ
 の山積する問題はこ
 れからである。

我々は全校をわけて異
 制にこれらの問題を取
 上げねばならない。そ
 して先輩から頂いたこ
 の立派な外観に値わし
 い充実した内容を持つ
 名貴品に鑑下一個の、
 不日本に堪へるべき學校
 圖書館に創設させるべ
 く努力しようではない